

なら 植防ニュース

一般社団法人奈良県植物防疫協会 臨時総会の開催

平成 30 年 8 月 20 日に、奈良県農業研究開発センター内交流・サロン棟で臨時総会を開催した。第 1 号議案: 役員を選任及び役員報酬について(人事異動に伴う一部改選)審議し、承認された。

近藤会長に代わり、会長に尾上喜信(奈良県農業協同組合中央会専務理事)が選任された。

井岡勲副会長に代わり、西本弘(奈良県毒物劇物取扱者協会会長)が選任された。

本協会の現在の役員は、下記の通りとなった(交代※)。

役 職	氏名 (所属機関名)
代表理事 会 長	尾上喜信 (奈良県農業協同組合中央会)※
副会長	小西勇介(奈良県農業協同組合) 西本弘(奈良県毒物劇物取扱者協会)※
業務執行 理 事	田中良宏(奈良県農業水産振興課) 和田正光(奈良県植物防疫協会)
理 事	谷川元一(奈良県農業研究開発センター) 前田茂一(奈良県病害虫防除所) 田中宇兵衛(奈良県農薬商業組合) 松原久展 (奈良県農業機械公正取引協議会)
監 事	澤田兼次(奈良県農薬卸商組合) 大東良史(奈良県農業共済組合)

一般社団法人奈良県植物防疫協会
〒633-0046 桜井市池之内130-1 奈良県農業研究開発センター内 TEL:0744(47)4861 FAX:0744(47)4862 (専用)

目	次
◎一般社団法人奈良県植物防疫協会 臨時総会の開催	1
◎平成30年度農薬安全使用研修会	1, 2
◎日本植物防疫協会シンポジウム	3
◎登録失効になった農薬 (FAMICの失効農薬情報より)	4

平成 30 年度 農薬安全使用研修会

7 月 19 日に奈良県農業研究開発センター交流・サロン棟で農薬安全使用研修会が催され、約 100 名が参加した。一部を紹介する。

農薬の適正使用～農薬のリスクと対策～ ((公社)緑の安全推進協会 内田又左衛門氏)

1. 農薬に係る最近の動向として、農薬取締法の一部改正案が成立した。本改正は、農薬の安全性の向上と、より効率的な農業への貢献を目指しており、見直しの概要は次の点である。

①再評価制度の導入：同一有効成分の農薬を一括して定期的に、最新の科学的根拠に照らして安全性等の再評価を行う。農薬製造者から毎年報告を求め、必要な場合には随時登録の見直しを行い、農薬の安全性の一層の向上を図る。現行の再登録制度は廃止される。

②農薬登録審査の見直し：農薬の安全性に関する審査（使用者・動植物への影響評価、農薬原体の含有成分に対する評価）の充実を図る、ジェネリック農薬申請を簡素化し、開発の促進を図る。

2.農薬の適正使用と責任の仕組みについて、農薬使用者は使用基準を順守し、適正に使用する責任がある。また、農薬使用時のリスク管理を行い、対策を講じて、事故防止に努める。万が一、問題発生した場合に備え、散布履歴等を記録し、対策手順を事前に作成しておくことが必要である。そして、上記の対策等は継続的に見直し、改善を行っていくことが重要である。これらのことが、農業生産活動に対する信頼を高め、食の安全・安心を消費者に提供することへつながっていく。

農薬用保護マスクの正しい使い方（スリーエム ジャパン株式会社 國谷勲氏）

農薬散布時の中毒事故は毎年起きている。平成26年度の原因別発生推移によると、約80%が使用者の油断によるもので、その内12%がマスク等の保護具の装

備不十分による事故である。

農薬に暴露されると、気分が悪くなる・食欲の低下といった健康被害が生じる恐れがある。そこで、農薬散布時の安全を保つため、保護具の装着が必要となってくる。また、農薬に暴露された際の吸収経路は、経皮・経気道・経口が考えられ、このうち経気道・経口は直接体内に取り込まれるため、経皮の30倍も吸収されやすくなる。さらに、農薬散布は重労働なので、呼吸が荒くなり、呼吸量も増加するため、平常時以上に吸い込みやすくなる。このため、適切な農薬用マスクや保護マスクを選び、正しく装着することは、中毒事故の防止に非常に重要である。

農薬用マスク（粉剤・液剤用）

粉剤・液剤の散布時はこのマークのマスクを使用する



<粉剤・液剤用農薬用マスク着用方法の一例>

①ノーズクリップを曲げ、鼻の形に合わせる



②面体をあごに包むようにあて、先に下のひもを首にかけてから上のひもを頭上部へつける



③両手でノーズクリップを鼻に密着するように押す



※他にも防護マスク（粉剤液剤用・土壌くん蒸用）があるので、用途に合ったマスクを選択する。

引用：農薬散布に使用するマスクの手引き

（一社）日本くん蒸技術協会制作

日本植物防疫協会シンポジウム 転換期に立つ植物防疫

9月20日に日本教育会館一ツ橋ホールで日本植物防疫協会主催のシンポジウムが開催された。開会に先立ち、上路理事長は、改正される農薬取締法は残留基準、登録といった点で欧米と遜色のない制度である。また再評価制度によって基幹的な薬剤が無くなるのか、ジェネリックが増えていくのか、と言う点について今回情報提供できれば良いとの挨拶があった。

農林水産省消費・安全局農薬安全管理課石岡氏は「農薬行政の課題と対応方針」について報告した。改正される農薬取締法では、発展する科学技術を効率的に反映するために、農薬原体の再評価制度の導入や、農薬の登録審査の見直しを行う。改正法は本年12月に施行される予定で、一部については2年後の2020年に第2弾施行となる予定とした。

環境省水・大気環境局土壌環境課小笠原氏は「農薬環境行政の課題と対応」について報告した。現行の農薬の生態影響評価に鳥類等の陸生生物や水草を追加し、生態影響評価の充実に向かって動いている。また、農薬の野生ハチ類に対する影響評価については現在調査検討中であるとした。

農薬工業会の横田氏は改正される農薬取締法の下で実施される農薬の再評価制度について報告した。欧米ではすでに再

奈良県病虫害防除所 山口貴大
評価制度が始まっており、多くの有効成分の失効や再評価期間の延長等の混乱があった。日本でこのような混乱が無いよう、事前に関係省庁や関係団体との調整を十分図ることを求めた。

日産化学株式会社の影島氏は海外におけるジェネリック農薬について報告した。農薬の特許切れ後に、同じ有効成分で他社から販売されるジェネリック農薬が国内農業の発展や競争力向上に貢献することに期待するが、日本におけるジェネリック農薬の開発、シェアは限定的だろうとした。

アリスタ ライフサイエンス株式会社の里見氏より天敵利用について、今後世界の農薬の売上は2050年代に生物農薬が化学農薬を上回るだろうと予想されている。日本では施設果菜類主体に普及を拡大しており、今後、水稻・畑作物での利用を考えていく必要があるとした。

青森県植物防疫協会の川島氏は「農薬の変遷に対応した現場指導」について、青森県のリンゴ栽培での現場指導は防除暦をベースにして行われている。そのため防除暦掲載農薬が失われた場合、代替剤がないと生産現場が混乱するため、早期の情報開示と情報伝達が必要であるとした。

登録農薬失効情報 (2018.6.1~9.30) 農林水産消費安全技術センター(FAMIC)の登録農薬失効情報より抜粋

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	申請者名 (略称)	失効日 月/日/年
殺虫剤				
11013	NA C水和剤	三明ミクロデナボン水和剤 8 5	三明化成	6/5/18
11090	エチルチオメトン・ダイアジノン粒剤	エチメトン粒剤 6	日本化薬	7/13/18
19680	カーバムナトリウム塩液剤	キルバー 4 0	パナソニック	8/11/18
19681	ペンフラカルブ粒剤	ホームカーデン粒剤	OAT777リテ	8/11/18
20402	ミルバメクチンエアゾル	タニボーイ	三井化学アグロ	7/11/18
22415	クロラントラニリプロール水和剤	アセルプリン	丸和ケイ	7/22/18
22436	ベルメトリン水和剤	M I C アディオフロアブル	三井化学アグロ	8/19/18
17903	シハロトリン・ジフルベンズロン水和剤	I C I ビリープ水和剤	ソシエック	9/6/18
殺菌剤				
10991	T P N くん煙剤	ダコニールくん煙剤	エフイーエス	6/5/18
17056	フルトラニル・メタラキシル粉剤	リドミルモンカット粉剤	日本農薬	7/29/18
17057	フルトラニル・メタラキシル粉剤	チバガイギー・リドミルモンカット粉剤	ソシエック	7/29/18
22805	プロバモカルブ塩酸塩液剤	プロブランド液剤	アリタ	9/27/18
18017	フェリムゾン・フサライド水和剤	ホクコーブラシン水和剤	北興化学	9/13/18
16133	ペンシクロン粉剤	ヤシマモンセレン粉剤 D L	協友アグリ	9/24/18
13043	チウラム・T P N 水和剤	ダコグリーン	エフイーエス	9/28/18
殺虫殺菌剤				
21078	ジノテフラン・カスガマイシン・フサライド粉剤	ホクコーカスラプスタークル粉剤 D L	北興化学	6/3/18
21101	エトフェンブロックス・イミベンコナゾール粉剤	マネーシトレボン粉剤 D L	北興化学	8/28/18
21712	ジノテフラン・カスガマイシン・フサライド水和剤	ホクコーカスラプスタークルフロアブル	北興化学	6/7/18
22398	シフルトリン・ピテルタノール液剤	アースカーデン W	アース	6/24/18
20476	アセコート・ベルメトリン・イミベンコナゾールエアゾル	ホクコーオールドラン M P	北興化学	9/29/18
18233	エトフェンブロックス・フェリムゾン・フサライド水和剤	ホクコーブラシントレボン水和剤	北興化学	9/13/18
18989	シラフルオフェン・フサライド粉剤	ホクコーラプサイドジョーカー粉剤 D L	北興化学	9/13/18
15407	M E P ・バリダマイシン・フサライド粉剤	ホクコーラプバリダスミ粉剤 3 D L	北興化学	9/13/18
除草剤				
19701	カフェンストロール・シハロホップブチル・ダイムロン・ベンスルフロンメチル粒剤	ジョイスター 1 キロ粒剤 5 1	クマシ化学	8/19/18
19850	クミルロン・ベントキサゾン水和剤	科研草盾フロアブル	科研製薬	8/8/18
20425	インダノファン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル粒剤	マサカリ L ジャンボ	デュポン・アグロケイ	8/15/18
20427	インダノファン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル水和剤	日農ダイナマンフロアブル	日本農薬	8/15/18
20428	インダノファン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル水和剤	ダイナマンフロアブル	デュポン・アグロケイ	8/15/18
20430	インダノファン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル水和剤	日農ダイナマン L フロアブル	日本農薬	8/15/18
20431	インダノファン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル水和剤	ダイナマン L フロアブル	デュポン・アグロケイ	8/15/18
20440	オキサジクロメホン・ベンスルフロンメチル粒剤	ホームラン 1 キロ粒剤 5 1	デュポン・アグロケイ	8/17/18
20441	オキサジクロメホン・ベンスルフロンメチル粒剤	ホクコーホームラン 1 キロ粒剤 5 1	北興化学	8/17/18
20452	オキサジクロメホン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル水和剤	ミスターホームランフロアブル	デュポン・アグロケイ	8/29/18
20453	オキサジクロメホン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル水和剤	ホクコーミスターホームランフロアブル	北興化学	8/29/18
21089	バラコート液剤	グラモキソン S	ソシエック	7/7/18
21164	ダイムロン・ベントキサゾン水和剤	ダッシュウンフロアブル	科研製薬	8/8/18
21714	オキサジクロメホン・クロメプロップ・プロモブチド・ベンスルフロンメチル水和剤	ゴウワンフロアブル	北興産業	6/7/18
21741	シハロホップブチル・テニルクロール・ベンスルフロンメチル粒剤	ピシット粒剤 1 7	デュポン・アグロケイ	7/31/18
22395	アジメスルフロン・カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロン粒剤	フルフォース 1 キロ粒剤	石原産業	6/12/18
22437	エンドタールニナトリウム塩液剤	M I C エンドタール液剤	三井化学アグロ	8/19/18
22714	グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	コンバカレール 1 0	シース	6/20/18
22717	エンドタールニナトリウム塩液剤	ホクサンエンドタール粒剤 2 5	ホクサ	8/19/18
22718	エンドタールニナトリウム塩液剤	ホクサンエンドタール液剤	ホクサ	8/19/18
22719	エンドタールニナトリウム塩液剤	ホクサンエンドタール液剤 H	ホクサ	8/19/18
22739	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロンメチル粒剤	M I C クサトリー D X 1 キロ粒剤 7 5	宇都宮化成	8/30/18
22741	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロンメチル粒剤	M I C クサトリー D X ジャンボ H	宇都宮化成	8/30/18
21771	レナシル・P A C 水和剤	デュボン レナバック顆粒水和剤	デュボンケイ	9/20/18
21773	オキサジクロメホン・ピラソスルフロンエチル・ベンゾピシクロン粒剤	シリウスいぶき 1 キロ粒剤	日産化学	9/20/18
21775	オキサジクロメホン・ピラソスルフロンエチル・ベンゾピシクロン水和剤	シリウスいぶき顆粒	日産化学	9/20/18
21777	カフェンストロール・ダイムロン・ベンスルフロンメチル・ベンゾピシクロン粒剤	シロノック 1 キロ粒剤 5 1	デュポン・アグロケイ	9/20/18
22443	オキサジクロメホン・クロメプロップ・プロモブチド粒剤	黒帯ジャンボ	日本農薬	9/2/18
22530	メトスルフロンメチル水和剤	デュボンサーベル D F	デュボンケイ	9/1/18
23693	ブタクロール・ベンゾピシクロン・ベンゾフェナップ粒剤	メルタス 1 キロ粒剤	日産化学	9/9/18
その他剤				
21243	ブトルアリン乳剤	ブルーリボン	エフイーエス	8/22/18
23684	フェンプロパトリン・ミクロバチル複合肥料	ベニカグリーン V アップスプレー	住友化学園芸	8/25/18